

表彰式に参加した受賞校の生徒や関係者



東京都市大環境学部

東京都市大学環境学部(吉崎真司学部長)は先月30日、第1回「高校生環境活動グループ実践賞」コンテストの表彰式を、横浜市都筑区の横浜キャンパスで開いた。同賞は高校生の環境保全活動を支援するため、今年度から創設されたもので、環境新聞社、東急不動産、五島育英会が後援。今回は計12件の応募の中から5グループが入賞し、最優秀賞(環境学部長賞・環境新聞社特別賞)に

最優秀に向上高生物部

本社後援第1回「高校生環境活動グループ実践賞」

は、「水環境における外来種問題」を調査研究し、全国への情報発信や地域での環境活動に取り組んでいる私立向上高

(神奈川県伊勢原市)の生物部が選ばれた。また、優秀賞(環境創生学科賞)は、授業で学習したバイオテクノロジー技術を駆使し地域で絶滅が危惧される植物の増殖法を研究、その成果を用いて保護・増殖活動に取り組んでいる山形県立村山農業高校(村山市)

のバイオテクノロジー部が受賞。優秀賞(環境マ



東急不動産の施設見学会

ネジメント学科賞)は、04年3月のISO14001の認証取得以来、9年間にわたり学校全体で環境活動に取り組み、常にPDCA(計画・実行・点検・改善)を繰り返しながら活動を改善している東京都立つばさ総合高校(大田区)のISO委員会が受賞した。さらに、学校実践賞(五島育英会賞)は、年

間35時間の環境ボランティア活動の実践や、95名もの生徒がISO内部監査員の養成講座を受講・修了するなど、学校を挙げて継続的な環境活動を実践している静岡県立浜松城北工業高校(浜松市)の環境クラブが受賞。地域連携賞(東急不動産賞)は、日本とインドネシアで発生しているごみ問題を中心とした「地域の環境問題」の解決に向け、ESD(持続可能な発展のための教育)など国際的な環境活動に取り組んでいる筑波大学付属坂戸高校(埼玉県坂戸市)の筑波国際G・ESDが受賞した。講評した吉崎審査委員長は、「国内を代表するハイレベルな高校生の取り組みが集まった。今後コンテストを通じ環境活動の促進につなげていきたい」と述べた。また、翌31日には、連携賞(東急不動産賞)の受賞校による東急不動産の施設見学会も行われ、環境に配慮した代表的商業施設の東急プラザ表参道原宿など5カ所を見学した。

●この記事・写真等は環境新聞の許諾を得て掲載しています。無断で複製等、著作権を侵害する一切の行為を禁止します。